

一側感音難聴の実態調査

1. 研究の対象

2017 年 4 月～2020 年 3 月までに初診された患者の中で一側の中重度以上の感音難聴を認めた患者さん

2. 研究目的・方法

一側性難聴は本邦では日常生活や学校教育に支障がないとこれまでは言われてきました。しかし近年、一側性難聴の日常生活に与える影響が海外から多く報告され、海外では一側聾の方に対する人工内耳手術が認可されつつあります。国内でも難聴議連を中心に一側性難聴への人工内耳の議論がなされるようになってまいりました。このような背景から、一側性難聴の実態（頻度、難聴原因、日常生活上の問題、介入と成績等）を調べ、一側性難聴に対する診療指針を作成することが必要となっております。従来小児では就学時頃まで一側性難聴の診断は困難でしたが、近年では一側性難聴の 1/4 が新生児聴覚スクリーニングで発見されるようになりました。乳幼児での正確な頻度と診療実態を調べる事が可能となっており、今回全国的に一側性難聴のアンケート調査を行い、本邦における実態を調査することにいたしました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

該当する患者さんの、年齢・性別・原因疾患・聴力図・介入（治療）の有無・治療経過の詳細

4. 外部への試料・情報の提供

データは匿名化し、パスワードロックのかかった USB メモリーにて東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科に送付します。対応表は、当科の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

【共同研究機関】

東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山嵜達也
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉科 吉田晴郎
名古屋市立大学病院 耳鼻咽喉科 岩崎真一
近畿大学病院 耳鼻咽喉科 土井勝美
九州大学病院 耳鼻咽喉科 中川尚志
帝京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 伊藤 健

【協力研究機関】（既存試料・情報の提供のみを行う機関）

耳鼻咽喉科専門医研修施設 参加 約 500 施設

<http://www.jibika.or.jp/members/nintei/senmon/pdf/kensyu-list.pdf> 参照

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

〒565-0871 吹田市山田丘 2-2

TEL：06-6879-3951

大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 太田有美

研究代表者：

東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山嵜達也